Green Age

vol.134

2026.10月号

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ／第134号

1面… 令和8年度鹿高祭／秋の1日体験入学
2面… Scio／先生！オシをオシえて！
3面… 部活動の活躍
4面… 第78代三弧会執行部所感～1年間を振り返って～／11月行事予定

【編集・発行】学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校 企画広報部 ／ 〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9 ／ TEL.099-255-3211 ／ FAX.099-258-0080

focus the KAKO

令和8年度 鹿高祭





















10月17日(土)爽やかな秋空のもと、第61回鹿高祭が開催されました。

8時35分、1・2年生は体育館、3年生は教室で開会式に臨み、今年の鹿高祭が幕を開けました。

午前中の体育館では、放送部、書道部、和太鼓部、音楽部、吹奏楽部、演劇部の舞台発表があり、日ごろの活動の成果を1年生全員が鑑賞しました。

2年生を中心とした教室展示、ピロティーなどでの模擬店は、保護者も大勢訪れ、おおいに賑わいました。

午後の体育館、学生ラウンジでは、個人参加の歌、演奏、ダンスなどバラエティーに富んだ演目が披露され、客席と一体となって楽しいステージが展開されました。

プログラムのすべてが順調に展開し、15時に閉会式。秋の1日、楽しく活気あふれる鹿児島高校を体現した、実り多い鹿高祭の1日となりました。

focus the KAKO

秋の1日体験入学











10月24日(土)秋の一日体験入学が行われ、中学生368名、保護者114名が鹿児島高校を訪れました。

午前中は学習体験、午後は部活動体験が中心のプログラムが組まれ、受験シーズン目前の中学生は真剣なまなざしで体験に臨んでいました。

Green Age（グリーンエイジ）～可能性の世代～

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これからの可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、“グリーンエイジ”と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やさしさ」をイメージしています。「夢いっぱいのやさしい若者たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしくお願いします。

Scio
鹿児島高等学校
進学指導便り
no. 159

Scio（スキオー）の意味
知るを意味するラテン語。science（科学）の語源にあたるscientia（知識）は、Scioの派生語とされています。

「計画的に」学ぶということ

3年生の皆さんは今、目前に迫った入試へ向けて最大限の努力を重ねている真っ最中だと思います。一方で、1・2年生の皆さんの中には、受験をまだ遠い未来のように感じている人も多いのではないでしょうか。しかし、いざ受験直前の時期を迎えると、なんとなくSNSやショート動画に溶かしてしまっている1時間が、喉から手が出るほど欲しくなります。現在の大学入試は、高校1・2年生の時期からどれだけ基礎を積み上げてきたかが合否に直結します。低学年のうちから自分なりの学習習慣を確立し、希望する進路の実現に向けた一歩を踏み出しましょう。

長い受験期を前向きに走り抜くためには、「計画的に」学ぶ技術を身につけておく必要があります。計画的な学習には、大きく分けて3つの段階があります。

1つ目は「総量計算」です。目標達成のために、何をどれだけ実行すればよいのか、その内容と全体の量を確定させる作業です。もし仮に、「この大学に合格するには、机の上に積まれたこのプリントの束をすべて完璧にすればいい」と明確に示されたら、その大学を志望する誰もが迷わずプリントに取り組むはずです。この最初の段階が最も重要ですので、ぜひ先生方に相談しながら、自分に必要な学習の全体像を決めることをお勧めします。2つ目は「細分化」です。最初に計算した学習の総量を、1ヶ月、1週間、そして1日で消化できるサイズへと切り分けていきます。ここでは、自分が短期間でどれだけの量をこなせるのかという自身の処理能力を正確に把握しておくことが重要です。そして3つ目が「スケジューリング」です。細分化した課題を、手帳やスマートフォンのアプリなどに記録し、実行に移していきます。ここでのコツは、予定を詰め込みすぎず、少しだけ余白を持たせておくことです。1週間単位で計画を立てるなら、1日は予備日として空けておくなどをお勧めします。

言葉にすると簡単そうに見えますが、これを3年生になってから急に始めようとしても、決してうまくいきません。まず「総量計算」の段階では、志望校の過去問を早めに分析するなどして、今の自分と目標の距離を適切に測る必要があります。次の「細分化」でも、自分が1日や1週間という短いスパンでどれだけの量を消化できるのか、自分のペースを知らなければ適切な配分はできません。さらに「スケジューリング」に至っては、そもそも毎日机に向かう習慣がなければ、どんなに立派な計画も「絵に描いた餅」で終わってしまいます。結果として、決めた内容をやり切れずに自信を失ったり、こなすことだけが目的になったりして消化不良を起こしてしまうという事態に陥りがちです。だからこそ、1・2年生の段階から「計画を立てて学ぶ」という試行錯誤をぜひ繰り返してください。計画通りにいかない失敗を早めに経験し、自らで計画を立てる力が、1年にわたる厳しい受験期を前向きに乗り越えるために必要な力です。

今の皆さんの学習環境を見ていると、スマートフォンやタブレットの普及により、学びのスタイルも大きく変化しています。分かりやすい動画教材やAIツールが充実し、問題の解説や答えが簡単に手に入る時代になりました。前述した計画づくりの3つの段階においても、AIを上手に活用すれば、自分に合った学習内容を提案してくれたり、長期的なスケジュール作成をサポートしてくれたりもします。しかし、こうした機器を「自分の学力を高めるため」に本当に使いこなせている人は、まだ少ないように感じます。これだけ便利で誘惑も多い世の中で、目標を達成するために最後に必要となるのは、「覚悟」と「習慣」のたった2つのみ。まずは「絶対にこの大学に行きたい」という強い覚悟をもって行動を開始すること。そして、その日の気分やモチベーションといった不確かなものに頼るのではなく、毎日の学習習慣によって、自ら立てた計画を淡々と遂行していくことです。まだ動き出せていない人は、この2つを自分に問い直してみてください。

進学指導部・紀 貴樹



【第18回】私の推しは「麻雀」 情報科・山野慶太先生

今回は情報科の山野慶太先生にご登場いただきました。ちょっと大人の（？）推しのお話、じっくり味わいましょう。

秋が深まり、街路樹の葉がゆっくりと色づき始めました。朝の空気は少し冷たく、歩くたびに足元で落ち葉が「かさり」と音を立てます。季節の移ろいはいつも突然で、気がつけば夏の名残も消え、穏やかな秋の時間が流れています。忙しい毎日の中でも、ふと立ち止まって空を見上げると、澄み切った青空が心を落ち着かせてくれます。こうした小さな変化に気づける余裕を、これからも大切にしていきたいものです。

そんな折、突然「先生の推しを教えてください」という原稿依頼を受けました。「推し」と聞くと、アイドルや俳優、アニメのキャラクターなどを思い浮かべる方が多いでしょう。

私自身も最初は何を書けばよいのか戸惑いました。そこで試しにAIに「推しとは何か」と尋ねてみると、「人に薦めたいと思うほど好感を持っている対象」との答えが返ってきました。最近では人物だけでなく、食べ物や鉄道、歴史など、あらゆるものに対して使われる言葉になっているそうです。

なるほど、それなら私にも「推し」があるかもしれない。そう考えながら1週間ほど悩んだ末にたどり着いた答えが、「麻雀」でした。

私と麻雀の出会いは大学時代です。友人に誘われて麻雀店へ足を運んだことがきっかけでした。店内に入ると、あちらこちらから「ポン！」「チー！」「カン！」「ロン！」という声が飛び交っています。正直なところ、最初は「ここは本当に日本なのだろうか」と思ったほど独特の世界でした。教えられたのは「役を覚えて、牌をそろえればいい」という程度。しかし実際に牌を触ってみると、その奥深さに少しずつ惹き込まれていきました。興味を持つともっと知りたくなる性格です。Youtubeやインターネットの動画配信などを活用して麻雀を学び始めました。もともと私は幼い頃、祖父から将棋を教わっていました。相手の考えを読み、自分の最善手を探るゲームの楽しさは知っていたため、麻雀にもどこか共通する魅力を感じていたのだと思います。

麻雀は四人で行うテーブルゲームです。東場、南場と呼ばれる局を順番に進めながら得点を競います。各局では親が決まり、親は十四枚、子は十三枚の牌を持ってスタートします。プレイヤーは牌を引いては捨てることを繰り返しながら手を整え、和了（あがり）を目指します。また、他の人が捨てた牌を利用して「ポン」「チー」「カン」などを行い、手を進めることもできます。一見すると単純なルールですが、その中には無限ともいえる選択肢が広がっています。

麻雀の最大の魅力は、運と技術の絶妙なバランスにあります。どんなに実力があっても配牌やツモの運に左右され、逆に運が良いだけでは長く勝ち続けることはできません。この不確実性こそが、多くの人を惹きつける理由の一つだと思います。

また、麻雀は高度な知的ゲームでもあります。まず重要なのが手牌効率です。限られた牌の中から、どの牌を残し、どの牌を捨てれば最も早く和了に近づけるかを考えます。その過程は、まるで複雑なパズルを解いているような面白さがあります。

しかし麻雀は、自分の手だけを見ていればよいゲームではありません。相手がどのような手を作っているのか、何を狙っているのかを推測しなければなりません。誰かがリーチをかけた瞬間には緊張感が一気に高まります。どの牌が安全なのか、どの牌が危険なのかを読みながら打つ必要があるからです。点数状況や局面、相手の性格まで考慮しながら判断を下すため、常に頭をフル回転させることになります。

さらに面白いのは、確率と心理戦が同時に存在することです。統計的には正しい一打でも、相手の癖や場の空気を考慮すると別の選択が有効な場合があります。数字だけでは測れない人間らしい駆け引きがあり、それが麻雀を唯一無二のゲームにしているのです。局ごとに異なる展開が生まれ、毎回新しい物語が生まれるため、何年続けても飽きることがありません。

近年では、Mリーグの人気やオンライン麻雀の普及により、麻雀は若い世代にも広く親しまれるようになりました。鹿児島でもサークルや大会が開催され、学生から高齢者まで多くの人が楽しんでいます。年齢や職業が異なる人々が同じ卓を囲み、会話を交わしながら時間を共有する光景は、麻雀ならではの魅力といえるでしょう。

麻雀は単なる娯楽ではありません。人と人をつなぐコミュニケーションの場であり、思考力や判断力、集中力を鍛える知的なトレーニングの場でもあります。そして何より、年齢や体力に大きく左右されることなく、生涯にわたって楽しめる趣味です。経験を重ねるほど新しい発見があり、学ぶことが尽きません。

「推し」と呼べるものは人それぞれです。しかし、もし私が誰かに自信を持って薦められるものを挙げるとすれば、それは間違いなく麻雀です。交流の楽しさと知的な面白さを兼ね備えたこのゲームは、私に多くの出会いと学び、そして豊かな時間を与えてくれました。これからも卓を囲みながら、その奥深い魅力を味わい続けていきたいと思います。

部活動の活躍

陸上競技部

9月15日～18日
鹿児島県高校新人陸上大会
【学校対抗（陸上競技部・駅伝部）】
女子 総合優勝（7連覇）★7年連続8回目
男子 総合3位
【女子100mハードル】
優勝 土屋 里穂（2J3 鹿屋東中）
【女子棒高跳】
優勝 米澤 真凜（2F6 鹿児島修学館中）
【女子走幅跳】
優勝 田中 愛枇菜（2F5 城西中）
【女子三段跳】
優勝 田中 愛枇菜（2F5 城西中）
【女子やり投】
第2位 山田 玲衣（1J1 桜丘中）
第3位 久場 美優（2F3 紫原中）
【女子七種競技】
第2位 竹内 えそら（2J5 東谷山中）
【女子400mリレー】
優勝 青木 乃愛（1F5 高尾野中）
中村 梨緒（1F8 出水中）
古里 朱夏（2F2 日吉学園）
池嵜 ほのか（2J5 出水中）
【女子1600mリレー】
第2位 池嵜 ほのか（2J5 出水中）
今村 心春（1F4 鴨池中）※駅伝部
古里 朱夏（2F2 日吉学園）
中村 梨緒（1F8 出水中）
【女子100m】
第4位 中村 梨緒（1F8 出水中）
【男子100m】
第2位 河野 陽夢向（2J3 北指宿中）
【男子やり投】
第2位 坂元 陽（1J1 吉野中）
【男子棒高跳】
第3位 日高 睦太（2F5 伊敷台中）
【男子400mリレー】
第2位 吉村 飛雄真（2F2 吉野中）
河野 陽夢向（2J3 北指宿中）
山口 悟右（2J4 紫原中）
西 響（2F3 喜界中）
【男子1600mリレー】
第3位 和田 昌樹（2F7 紫原中）
山口 悟右（2J4 紫原中）
田島 廉（1J4 松元中）
徳重 遼（2F8 鹿児島修学館中）

10月3日～4日
第42回U20日本陸上競技選手権大会
【男子400mH】
第7位 橋元 翔琉（3J4 野田中）

※以上3位以内（一部繰上出場）の延べ15種目35人（個人種目11・リレー6人×4種目）が、10月9日から福岡県で行われた九州高校新人陸上大会への出場権を獲得しました。

10月9日～11日
九州高校新人陸上大会
【学校対抗（陸上競技部・駅伝部）】
女子 総合3位
【女子棒高跳】
第3位 米澤 真凜（2F6 鹿児島修学館中）
【女子三段跳】
第6位 田中 愛枇菜（2F5 城西中）
【女子100mハードル】
第7位 土屋 里穂（2J3 鹿屋東中）

10月15日～19日
第80回国民スポーツ大会
【少年男子A 300mH】
出場 橋元 翔琉（3J4 野田中）

駅伝部

9月15日～18日
鹿児島県高校新人陸上大会
【学校対抗（陸上競技部・駅伝部）】
女子 総合優勝（7連覇）★7年連続8回目
男子 総合3位
【女子800m】
優勝 荒木 美伊奈（2F7 国分中）※大会新記録
第4位 今村 心春（1F4 鴨池中）
【女子1500m】
第2位 荒木 美伊奈（2F7 国分中）
第4位 山口 優月希（1F8 隼人中）
【女子3000m】
第3位 早﨑 夕璃（1EE1 伊敷台中）
【女子5000m競歩】
優勝 池水 実花（2J1 南指宿中）
第2位 辻 ゆりあ（1F6 東谷山中）
【女子1600mリレー】
第2位 今村 心春（1F4 鴨池中）
【男子5000m】
優勝 片平 佳希（2F2 東市来中）
【男子5000m競歩】
優勝 末野 晟琉（2F3 城西中）
第2位 小村 匠（2J1 南指宿中）
【男子1500m】
第2位 初田 一心（1EE2 松元中）

※以上3位以内（一部繰上出場）の10人が、10月9日から福岡県で行われた九州高校新人陸上大会への出場権を獲得しました。

10月9日～11日
九州高校新人陸上大会
【学校対抗（陸上競技部・駅伝部）】
女子 総合3位
【女子800m】
優勝 荒木 美伊奈（2F7 国分中）※大会新記録
第5位 今村 心春（1F4 鴨池中）
【女子5000m競歩】
第3位 池水 実花（2J1 南指宿中）
第5位 辻 ゆりあ（1F6 東谷山中）

剣道部

9月22日
第35回鶴水杯争奪少年剣道錬成大会
【高校生女子の部】
第3位 鹿児島高校A（団体メンバー）
亀澤 幸羽（2F4 帖佐中）
川畑 仁妃愛（2F3 吉野東中）
岩坪 涼（2J4 城西中）
久木崎 心春（2J4 桜丘中）
久木崎 心美（1F7 松元中）
有田 帆南（1EE3 和田中）

10月22日
鹿児島市高等学校大会
【女子団体】
第2位 鹿児島高校A（団体メンバー）
亀澤 幸羽（2F4 帖佐中）
川畑 仁妃愛（2F3 吉野東中）
岩坪 涼（2J4 城西中）
久木崎 心春（2J4 桜丘中）
久木崎 心美（1F7 松元中）
有田 帆南（1EE3 和田中）
第3位 鹿児島高校B（団体メンバー）
塩屋 優妃（2F3 和田中）
井川 莉胡（1EE3 和田中）
岡崎 未帆（1J3 谷山北中）
中原 理緒（1F7 東谷山中）
福留 香乃花（1J2 加治木中）
岩崎 芽生（1F7 谷山北中）

10月25日
第76回妙円寺詣り行事大会
【剣道競技　高校女子の部】
優勝 鹿児島高校A（団体メンバー）
亀澤 幸羽（2F4 帖佐中）
川畑 仁妃愛（2F3 吉野東中）
岩坪 涼（2J4 城西中）
久木崎 心春（2J4 桜丘中）
久木崎 心美（1F7 松元中）
岩崎 芽生（1F7 谷山北中）

水泳部

9月26日～27日
令和8年度（第88回末広杯）全九州高等学校選手権新人水泳競技大会
競泳
【男子50m自由形】
優勝 中村 斗雅（2F7 鴨池中）
【女子1500m】
第5位 山口 優月希（1F8 隼人中）
【女子3000m】
第6位 早﨑 夕璃（1EE1 伊敷台中）
【男子5000m競歩】
第6位 末野 晟琉（2F3 城西中）
第8位 小村 匠（2J1 南指宿中）
【男子1500m】
第8位 初田 一心（1EE2 松元中）

10月15日～19日
第80回国民スポーツ大会
【少年女子A800m】
第4位 荒木 美伊奈（2F7 国分中）
【少年女子A5000m競歩】
第8位 佐多 茉奈美（3J1 松元中）

バドミントン部

9月28日～29日
令和8年度鹿児島市高等学校バドミントン競技大会
【男子ダブルス】
第3位 中野 聖也（2F4 開聞中）・田淵 斡馬（2J3 武中）
【男子シングルス】
ベスト8 田淵 斡馬（2J3 武中）
ベスト8 中野 聖也（2F4 開聞中）
【女子ダブルス】
ベスト8 杉木 陽菜乃（2F5 西紫原中）・長坂 心音（1J3 入来中）
【女子シングルス】
第3位 長坂 心音（1J3 入来中）
ベスト8 正岡 未羽（2EE1 宮之城中）

軟式野球部

10月6日～9日
第68回九州地区高等学校軟式野球大会鹿児島県予選
準優勝

フェンシング部

10月10日～13日
第80回 国民スポーツ大会
【少年女子フルーレ（団体）】
第4位 （鹿児島県代表選抜メンバー）
永井 凛凪（3J2 松元中）
小笹 愛呼（2J2 帖佐中）

女子バスケットボール部

10月24日
第79回全国高等学校バスケットボール選手権大会鹿児島県予選
第3位

男子バスケットボール部

10月24日
第79回全国高等学校バスケットボール選手権大会鹿児島県予選
第3位

自然科学部

第17回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト
入賞
「マゴコロガイの繁殖期の生態について」
上村 勇海（2F8 重富中）
吉田 光志（2EE1 桜山中）
「圧電素子を用いた音の減少について」
北山 隼太朗（3EE1 清水中）
佳作
「ハニカム構造の圧縮強度について」
坂之上 恭一（3EE1 甲南中）
「ベルチェ素子発電について」
竹下 快晟（3EE1 甲南中）

書道部

宮地嶽 第59回光の道全国競書大会
福岡市長賞 佐藤 好（2EE2 紫原中）
第31回トンボロ芸術村コンテスト
NHK鹿児島放送局賞 泉 七苗（2F8 清水中）
トンボロ芸術村入選 園田 奈央（1EE3 坂元中）
第24回和洋女子大学主催 競書大会
審査員奨励賞 園田 奈央（1EE3 坂元中）
大東文化大学主催第67回全国書道展
全国書道高等学校協議会賞 佐藤 好（2EE2 紫原中）
推薦賞 泉 七苗（2F8 清水中）
優秀団体賞 鹿児島高等学校

演劇部

第79回鹿児島県高等学校演劇祭
鹿児島市・南薩地区大会
最優秀賞

※本成績により、11月5日（木）・6日（金）に行われる県大会への出場権を獲得しました。

音楽部

10月16日
第80回瀧廉太郎記念・全日本高等学校声楽コンクール
優良賞 **竹田市長賞**
竹田市観光ツーリズム協会会長賞
馬場 杏奈（3F5 西紫原中）

百人一首同好会

9月22日
第2回令和ことたま短歌大賞
佳作 増森 泰太（2EE2 附属中）
「小倉山うち照る月を花雲の 立ち隠してもなほ匂ひける」

その他の活動

10月18日
第58回鹿児島県高等学校新人体育大会ボクシング競技
【55kg級】
第2位 船倉 健新（2F2 甲東中）

10月24日
第79回全日本合唱コンクール全国大会
銅賞

検定

令和7年度実用英語技能検定
奨励賞 鹿児島高等学校
2026年度 第1回英検（CBT）
準1級 亀井 花音（3EE1 喜入中）

かけはし／10月号

第78代三弧会は、10月31日に任期満了を迎えます。

今回のかけはしでは、11月1日に後輩にバトンを渡す執行部を代表して、三弧会会長に、現在の所感を聞きました。

第78代三弧会執行部所感
～1年間を振り返って～

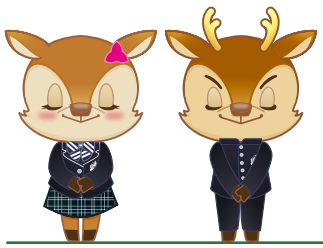
この一年を振り返るとさまざまな記憶が蘇ります。特に一番印象に残っているのは七月のクラスマッチです。三日間開催から二日間開催となったことでたくさんのやるべきことが現れ、体育部が中心だったとはいえ、準備から片付けまで常に忙しく、全てが終わった後にクタクタだったのをよく覚えています。

私はこの一年を通して人に頼ることと人と協力することの大切さを学びました。各行事では三弧会役員はもちろんのこと、手伝いをしてくださった生徒の皆さんの協力がなければ、どれも成功させることは困難だったと思います。

79代の三弧会役員たちへ。我々三年生がいなくなった後は大変かも知れませんが、この一年間でやり遂げたことに自信をもって、最後までしっかり頑張ってください。

私たち78代三弧会は皆さんのご協力のもと、最後までやり遂げることができました。長い間本当にありがとうございました。

【第78代三弧会会長】
山崎 丈瑠（3EE2 清水中）



1年間の思い出












11月の行事予定

11月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
進研（ベネッセ・駿台）模試（3年）	月曜校時（三弧会長認証式・新役員挨拶／衣替え（冬服）／長距離走大会全体指導（1・2年・ipad持参／情ビ科検定前補習～6日）	文化の日	保護者授業参観（1～6限）／第6回中学校訪問（～19日）	45分授業／火曜授業／二者面談①（～11月13日）	45分授業／期末試験時間割・範囲発表／読書週間図書特別貸出し最終日／二者面談②	生徒休校	全商ビジネス計算実務検定	平常校時／防災避難訓練②／二者面談③	45分授業／駐輪場整理／二者面談④	長距離走大会（1・2年）／3年休校	45分授業／健康相談（修学旅行向け）／二者面談⑤	45分授業／二者面談⑥		月曜校時（全校朝礼・身だしなみ検査）／2年E・J修学旅行学年指導（LHR）	期末試験（全学年）①	期末試験②	期末試験③	期末試験④／1年学部学科ガイダンス（12時～）／自動車学校説明会（3年希望者）／鹿国大訪問（2全希望者）／PTA役員会（18時～）	生徒休校／第3回全統プレ共テ模試（3年）①	第3回全統プレ共テ模試（3年）②／全商ビジネス文書実務検定	勤労感謝の日／定期清掃	変則40分×7限授業（人権講話 体育館）／駐輪場整理／3年共テ特別授業開始	40分×7限	2年普通科修学旅行学年指導（放課後 体育館）	2年全修学旅行（～12月4日）／3年共テ受験者自己採点用アカウント作成（LHR）